

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北陸)	良くなる	一般小売店〔鮮魚〕 (従業員)	・少なくとも今年の9月ごろまでは大口のコンベンションなどが予定されているので良くなるであろう。現状、にぎわいは金沢の一部で能登や加賀は今一つと見受けられるが、徐々に増えている。県内を舞台にした朝ドラも始まり、能登観光は輪島を中心にさらに増加すると思われる。今後はこの効果を維持、継続することがもっとも重要である。
		観光型旅館(スタッフ) 都市型ホテル(スタッフ) タクシー運転手	・予約状況は2月107%、3月103%、4～6月は200%と北陸新幹線開業の影響は出ている。 ・大型の学会や大会が、いよいよ4月から予定されており、宴会やレストランにも良い効果がある。ただ、レストランの地元客は消費税増税後の戻りが悪い。 ・今後、観光シーズンになれば、例年になくさらに乗車が増えるような気がする。またビジネス客が増えていることから、今後も期待ができる。北陸新幹線効果は非常に大きいと思う。
	やや良くなる	一般小売店〔事務用品〕(店員) 百貨店(営業担当) スーパー(店長) 衣料品専門店(経営者) 家電量販店(店長) 乗用車販売店(経営者) 住関連専門店(店員) その他専門店〔酒〕(経営者) その他小売〔ショッピングセンター〕 その他小売〔ショッピングセンター〕(統括) 高級レストラン(スタッフ) 観光型旅館(経営者) 都市型ホテル(役員) 通信会社(役員) 住宅販売会社(従業員) 住宅販売会社(従業員)	・来月分の売上も目標達成が見込める。 ・だんだん暖かくなり、5月のゴールデンウィークに向けて旅行を考えている方が多いので、それに伴い衣料品やバッグ、雑貨などが動くため良くなると思われる。 ・4月に入れば、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動も落ち着き、普段の状態に戻ると予想されることから、良くなっていくことを期待している。 ・先々どうなるかはわからないが、悪い材料が見当たらなくなっているのではないかと。あるのかどうなのかわからないが、賃上げの噂も聞こえている。株価も相変わらず高い。期待のムードが高まっているような気がする。 ・高付加価値商品の4Kテレビやハイレゾオーディオなどの趣味嗜好商品に対しての問い合わせが増えてきていて、実績も先月から比較して緩やかではあるが上がってきている。 ・新商品の発表も予定しており、購入も少しずつ戻ってくる。 ・飛躍的な伸びは想定できないが、企画などを仕掛けた部分への反応は確実に見られる。昨年の消費税増税の施行から1年経ち、一時期に比べると消費者の志向にも慣れが見受けられる。夏物の展開へとシフトしていく中で、外へ出かけなくても家で得られる満足度を高める動きもあり、インテリア用品への期待は持てる。 ・希望的な期待感で、やや良くなるとした。現在、北陸新幹線の開業や、ベースアップがかなりあったなど、良いニュースが周りで聞かれることから、2～3か月先は少しは景気が良くなるのではないかと期待をしている。 ・北陸新幹線開業効果で多くの観光客や地元市民が駅や新施設を訪れ、またピンポイントではあるが有名観光地、飲食店ににぎわいをもたらし活気が出てきた。ベースアップ報道も取り上げられ、景気回復が目の前まできているように感じる。 ・特に北陸エリアは北陸新幹線開業の影響もあり、観光だけではなく、一般マインドも上げ潮である。買上点数や購買動向に明るさを感じる。 ・北陸新幹線開業により、今年度は1000名以上の大型コンベンションが30件以上あり、料亭部門では既に30名以上の宴席受注が伸びている。テレビでの特集も多く、個人客の動きも好調である。 ・4月以降は北陸新幹線効果もあり、募集型団体旅行やインパウンドを中心に予約数が前年比10～30%ほど上回っている。 ・北陸新幹線の開業、そして立山黒部アルペンルートの開通を控え、今後期待される。 ・中央におけるベースアップ実施企業の増加動向が地域にも波及してくるものと期待しており、合わせて提供サービスの契約獲得増に繋がることを期待している。 ・20代後半～30代前半の若年層の動きに加え、65歳以上の年配者層の動きも増えている。いままで年配者はリフォームを考える人が多かったが、新築を検討する方が多くなってきた。 ・景気の改善や省エネ住宅ポイントの復活で客の動きに期待したい。

変わらない

商店街（代表者）	・周りが良いというほど、良い動きはない。金沢は駅を含めた完成度が高く、富山の客が金沢に引っ張られている感がある。
商店街（代表者）	・商店街の業種の中でもまだ健闘していた飲食関係でさえ、最近では新店に負けないう値引きや企画で奮闘しているが、思ったほど売上の伸びはない。大企業のベースアップが地方へ波及してくるには、まだ時間がかかりそうだ。
商店街（代表者）	・4月からは大手企業のベースアップもあると思うが、消費者マインドはすぐには改善しないものと思われる。なお、今後夏期に実施予定のプレミアム付き商品券には、少しだけ期待している。
一般小売店〔精肉〕 （店長）	・北陸新幹線効果が、徐々に街中まで浸透してきて景気が良くなるとも考えられるが、逆にストロー現象によって客がとられることも懸念される。景気の状態は予断を許さぬ状況であると思われる。
百貨店（営業担当）	・昨年の3月は消費税増税前で4月は増税後であったので、この3～5月トータルで昨年と比べてどうなるかということに注視している。北陸では北陸新幹線の開業などがあるため、食品についてはお土産などの購買動機があり3か月累計で前年を上回る感じがしているが、ファッションではどちらかという北陸から首都圏の方に買物に出かけるという消費行動が予想され、少し厳しい。3～5月全体をとらえると前年並みなのではないかなという気がしないでもない。
スーパー（総務担当）	・食品の値上げが引き続き予定されているため、客単価アップにより売上高は前年並みに推移すると思うが、決して景気が良いためではない。
スーパー（統括）	・今後については、現状大きく変化する要素はない。しかし4月以降については、前年度に消費税増税があり、3月の駆け込み需要による売上増、4～5月の落ち込みということがあったのだが、今年はそれが無いであろうということと、まだ小売業界には効果が出ていないとは思いますが、3月14日の北陸新幹線開業について期待はしている。
コンビニ（経営者）	・イベントに依存する立地であることから、土曜や日曜、祭日の天候や、イベントの規模などにより多少の上下はあると思われるが、平日に関しては変わらないと考えている。
コンビニ（店舗管理）	・地方都市の企業では、賃上げも無縁である。景気好転の空気感は皆無かと思われる。
衣料品専門店（経営者）	・今後、衣料品全体の売上が増加していくとは思われない。景気回復の波に乗って自店をより一層磨き上げなければ、生き残れないと思われる。
家電量販店（店長）	・テレビの販売数量が伸びても小型テレビが中心で、単価の伸びがない。
乗用車販売店（役員）	・自動車販売は新型車効果の恩恵が一番大きいのだが、年度の前半期は現状の商品で乗り切らなければならないので、中古車や修理部門の拡大に期待している。
自動車備品販売店（従業員）	・昨年は消費税増税前の駆け込み需要の反動で来客数も大きく減少したが、今期は安定すると思われる。しかし新車軽自動車の税率変更など駆け込み需要後の動きは鈍くなる予測で、景氣的には大きな変化は期待できない。
一般レストラン（店長）	・北陸新幹線の開業効果が全く感じられない。金沢、能登に客がとられ、かえって悪いくらいだ。
一般レストラン（統括）	・金沢駅付近は北陸新幹線効果の恩恵がある。しかし金沢から離れた市町村では若干の動きはあるが、大きな動きが見られない状況である。
旅行代理店（従業員）	・北陸新幹線開業効果が企業から個人へ波及してくるかどうかは、2～3か月見てみないとわからない。まだまだ個人の財布のひもは固い。
タクシー運転手	・夜の繁華街は週末のみが忙しく、ほかの日は相変わらずさびしい。
通信会社（営業担当）	・例年通りこの時期の商戦期にあたり、問い合わせ件数や契約数は目標達成しているが、解約数が増加しているため、結果としては大きな変化は感じられない。
通信会社（店舗統括）	・大きな変動の要因は感じられない。
通信会社（役員）	・競合している大手通信事業者の新サービスの影響が不透明ではあるが、契約数は変わらず推移するとみている。
テーマパーク（職員）	・前年同月比でみると、昨年は消費税増税などの影響があったが、今年はそういった影響は受けない。団体やインバウンド客は増加傾向にあるものの、個人客の動きが依然として鈍く、トータルとしてみた場合、これから2～3か月先も今月並みに推移すると思われる。

	競輪場（職員）	・開催日数が増加する時期に突入し、客がよりレースを選別するようになる。開催グレードによって売上の増減が激しくなる。
	その他レジャー施設（職員）	・子供教室の入会につなげるため、体験教室を企画しているが、反応が今ひとつで新年度でもなかなか結びついてこない。大人も同様の施策を行っているが、これも反応が今ひとつである。
	美容室（経営者）	・今の不安定な景気の状況が当分は続きそうな気がする。
	住宅販売会社（経営者）	・客の動向から変わらないと思われる。
	住宅販売会社（従業員）	・情報量も目標数字に近い線まできており、今後コンスタントに推移すれば景気は良くなると思われる。ただ、増改築で大型案件の手離れが悪くなるなど、商談時間が長くなる傾向にある。連動して思ったほど受注が伸びないことも十分予想される。
	住宅販売会社（従業員）	・金利及び税制の優遇面は浸透してきているが、まだまだ契約までに時間がかかっている状況である。
やや悪くなる	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・乳製品やその他の食品、また野菜類などの値上がりや高騰などがあり、悪くなる要素ばかり目立つ。
	スーパー（店長）	・今月と比べると、4月からまた値上げがあるということで、それを踏まえて節約志向も進んでいくのではないかと思っている。
	コンビニ（経営者）	・販売が好調な商品はコーヒーが唯一といっていいほどであり、ドーナツもそこそこ調子がいいが、このような商品でもそれだけを買っていく人が多い。店内の商品の単価自体は上がっているものも多いのだが、客単価が上がっていない。この状態では、来客数の減少もあり売上の増加が見込めない。
	コンビニ（店長）	・近くに競合店出店の情報がある。これまでも売上が大きく下がっているが、競合店の出店となれば確実に更なる売上悪化となる。出店自体は春以降の話なので2～3か月でどうなるものではないが、夏ごろにかけてものすごく悪化するものと思われる。コンビニの潰し合いが続く昨今、どこの店舗も抱える不安要素であることは事実である。競合店出店による売上低下の恐れがない店舗は皆無であり、業界全体が潰し合う事で本部の売上は上がるものの、個店の売上は下がり、私たち店舗経営者にとっては大変厳しい状況にある。
	乗用車販売店（従業員）	・3月が過ぎると、例年徐々に売上や来客数が減っていく。
	スナック（経営者）	・今春、当店の複数の常連客が会社を退社し、目にみえて落ち込みそうである。絶えず国際的な要因が引き金となりマイナスとなって現れる。少しマイナス的な気持ちになる。
	通信会社（職員）	・昨年の消費税増税による駆け込み需要とその後の反動もなく、プラスの要因もマイナス要因も少ない。競合新規参入による市場の変化は今のところ少ないものの、今後は徐々に影響が出てくる。
	通信会社（営業担当）	・新商品の発売に伴い、来客数はそこそこ安定してくると思うが、最近では新機種が出たからといって直接販売台数アップにつながるほど販売は増えないと思われる。
	悪くなる	-
	良くなる	-
企業動向関連 (北陸)	繊維工業（経営者）	・政府施策の後押しもあり、国内消費の改善が期待される。
	繊維工業（経営者）	・為替が安定し、内需では仮需がやや強そうである。
	プラスチック製品製造業（企画担当）	・株高、賃金上昇により個人消費の伸びが期待できる。
	一般機械器具製造業（総務担当）	・国内は「地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金」で工作機械も対象になったので、引き合い、受注が増えたと予想している。
	金融業（融資担当）	・北陸新幹線の影響は少なくとも短期的には確実にプラスである。取引先などのマインドも同様に感じる。
	不動産業（経営者）	・同業者もそうだが、法人でも一部では動きが出ていると言われていることから、今後2か月先ぐらいには、皆動き出すのではないかと感じている。
	税理士（所長）	・若い人でも新たに事業を始めたい、あるいは会社を設立したいという案件が、私の身の回りで上がってきている。いろいろなビジネスチャンスが出てきていると感じている。ただ、規制があり異業種が参入しづらい業種がある。そういった規制緩和が大事なのではないかと最近感じるものが多くなる。ただ、傾向としてはいろいろな面で明るい方向が、拡大の方向に今ようやく向かいつつあるのではないかと思う。
変わらない	化学工業（総務担当）	・今後の受注予定は横ばいの見込みである。

		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注の入り具合をみて、そのように思った。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量が安定している。また、先の数か月についても現状ベースの内示をもらっている。
		精密機械器具製造業（経営者）	・国内販売、海外販売とも、こしばらく大きく変化していくような要素は見当たらない。
		建設業（経営者）	・年度初めとあって公共工事の発注は例年通り少ないであろうが、建設産業の担い手確保のために政府が「担い手3法」の改定を行って適正な利益を確保できるような政策を打ち出しているため、その一環として早期発注が期待できるのではないかと考えている。
		建設業（総務担当）	・受注環境に地域格差が生じており、地域によって受注価格競争が激化することも予測され、先行きは不透明になっている。
		輸送業（配車担当）	・現状のなかでは、今後急速に物量が回復するとは思われない。
		金融業（融資担当）	・北陸新幹線開業で当面のピークを迎えているが、夏ごろまでは好調が継続すると思う。最近、デパートに行っても、昨年よりもにぎわっていると思う。
		司法書士	・抵当権設定の案件が増加しているが、ほとんどが借換え案件である。非常に安い金利になっており、これで金融機関の利益が出るのか疑問なものもある。
	やや悪くなる	食料品製造業（役員）	・外部環境の変化がない以上、為替の影響でますます原材料の平均単価が上昇し、収益に与える影響が一層増してくるものにとらえている。
	悪くなる	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・27年度も各月売上が前年比を上回るとは思えず、いまだ景気の底には到達していないのではないかと懸念している。業種的にも、住宅や不動産、家電量販店のチラシの出稿は上向きに転じていない。
雇用 関連 (北陸)	良くなる やや良くなる	-	-
		新聞社〔求人広告〕（役員）	・北陸新幹線の開業、大型アウトレットモールの開業など、流通店の進出で少し求人が出てくるような感じがしている。
		職業安定所（職員）	・これまでの人手不足の業種だけでなく、幅広い事業主から求人が出されており、人手不足の状況はしばらく続くと思われる。
		職業安定所（職員）	・北陸新幹線開業の後には、県内にアウトレットモールが7月ごろにオープンを予定しているなど、しばらくは求人の増加傾向は続くものと思われる。
		民間職業紹介機関（経営者）	・7～9月にかけて、複数の大型商業施設がオープンする。オープンに向け、本格的な求人が増え、人の動きも物の動きも活発になることが期待できる。
変わらない	人材派遣会社（役員）	・北陸新幹線効果が増すことを期待したい。	
	人材派遣会社（社員）	・今後、専門職の人材確保に向けた取組みを検討していく必要がある。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	・企業の大量雇用の動きがあまりない。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・3か月前と比べて求人数が増えているものの、この流れが続くかどうかは不透明であり、今のところこのまま増加するような動きも出ていない。ただし、新卒学生の採用意欲は近年になく高い。	
	職業安定所（職員）	・業績が良くなるという事業所がある一方で、依然として先行きを不安視している事業所もある。	
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-